

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和6年度）2024

活動日時	月	日	曜日	開始	0	場所	会員参加数
	10	26	土	8:30	15:30	につきい堀込市民の森	3名
活動名称	一二三富の会につきい堀込の森プレーパーク					報告者：吉井 優	

1、活動目的

2018年から実施しているにつきい堀米の森プレーパークが今年も開催されました。我々の友好団体である坂戸のNPO法人一二三富の会から支援依頼があり、応えたものです。我々のイベントにも一二三富の会から協力者を派遣してもらっています。近隣の様々な友好団体と交流することは、我々の活動を広げてくれ、我々の参考になることもあります。

2、活動内容ほか

昨年同様ですが、秘密基地づくり、穴掘り、ブランコ、ターザンロープ、ジップライン、ハンモック、綱渡り、竹細工、クラフト作りと、多くのメニューを提供しています。我々は、綱渡りと竹細工を担当しました。親子劇場はクラフトを担当しました。につきい堀米の森は、2010年からチェーンソー伐採練習をしていた坂戸のヒノキ林です。約7000㎡ですので、五味ヶ谷や藤金の森より少し狭いです。森の隅々まで使い、子供たちが楽しんでいます。

3、評価：

今年も、子供が80名ほどで、森いっぱいにも子どもたちの楽しむ声があふれている印象でした。

我々が担当した綱渡りでは、昨年に続き15本のヒノキをつないで、60mを超えるロング綱渡りを実現しました。おかげで大盛況となり、ハーネスを15人分準備しましたが、常に順番待ちの状態でした。竹細工は、1週間前の西市民センターの閑散とした状態とは真逆で、体験希望者が順番待ちの状態でした。私が担当し、一二三富の会から1名お手伝いしてもらいましたが、10時から3時まで子供にかかりっきりで、へとへとになりました。坂戸では、年1回のプレーパークですので、楽しみにしている子どもも多いようです。

4、課題

一二三富の会も高齢化が進み、イベントのスタッフを充分確保できない状態です。それに加えて、秘密基地づくりなどで我々の倍のメニューを開催していることで、なおさら人手不足となっており、我々に援助要請がきています。今回、つるがしま里山クラブからの参加者が3名で、竹細工指導と綱渡り指導を依頼されましたが、充分対応できませんでした。特に綱渡りのも竹細工も人気がありすぎて、イベント開始から休むことなく子供たちと接しており、さすがに疲れしました。まずは、一二三富の会で、人員確保が重要ですが、坂戸や毛呂山に出向き協力していただける方が増えることを希望します。

<里山参加会員>

吉井、柳川、石樽

<活動写真>

